

# 経営規模総括表

商号又は名称		代表者職氏名		代表取締役 名護 太郎	
〇〇設計(株)		〇〇設計(株)		〇〇設計(株)	
業 種 別 実 績 高	入札参加を希望する業種区分	直前第2年度分 決算  2021年1月から 2021年12月まで  (千円)	直前第1年度分 決算  2022年1月から 2022年12月まで  (千円)	直前2か年間の 年間平均実績高  (千円)	
	測量	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	△△△,△△△	
	建築関係コンサルタント	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	△△△,△△△	
	土木関係コンサルタント	〇〇		△△△,△△△	
	地質調査	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	△△△,△△△	
	補償関係コンサルタント	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	△△△,△△△	
	調査業務	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇	△△△,△△△	
	合計	〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇		

申請する業種について、それぞれの直前1年分及び2年分の実績高を記入してください。

注) 実績高については、税抜き金額を記入し、千円未満の端数は切り捨てること。

直前2か年間の平均実績高 = 直前2年の実績 ÷ 2 (税抜き、千円未満切り捨て)

1年以上の営業実績がある業者で1期分の決算しかない場合は、1期分のそれぞれの実績額の半額が年間平均実績高になります。

また、直前2か年の年間平均実績高を記入するにあたり、決算期を変更したため24ヶ月に満たない場合の年間平均実績高の計算方法は次の通りです。

(例)

【直前2年の実績の算式】

$$A \text{ の受注金額} + B \text{ の受注金額} + \left( C \text{ の受注金額} \times \frac{24 \text{ か月} - (A \text{ の月数} + B \text{ の月数})}{12 \text{ か月} (C \text{ の月数})} \right)$$

上記例の場合、直前第1年度分決算はA (4か月) を記入し、直前第2年度分決算はB (12か月) + (Cの受注金額 × ...) の実績とその決算期間 (CからBまでの期間) を記入します。

※実績高については、税抜き金額を記入し、千円未満の端数は切り捨てること。